

海外新着情報 [\(2月更新\)](#)

海外新着情報では、神奈川県との協力による海外駐在員との連携の中で得た「海外での企業活動の現状に関する情報」をご案内します。

○ 北米地域情報

・海外からの航空旅客にコロナの陰性証明提出を義務化 ～ 米国 ～

(2021年1月12日)

米国疾病予防管理センター（CDC）は1月12日、新型コロナウイルスの変異種の感染拡大を受け、全世界から空路で米国へ入国する者に対し、1月26日から新型コロナウイルス検査の陰性証明書の提出を義務付けると発表しました。

○ 東南アジア地域

・57日ぶりの新型コロナ市中感染、集団感染 ～ベトナム～

(2021年1月28日)

ベトナム保健省は1月28日、北部のハイズオン省とクアンニン省で新型コロナウイルスの市中感染が発生したと発表しました。翌29日には、近郊の首都ハノイ市やハイフォン市、バクニン省での感染も発表されました。

市中感染の発生を受けて政府はハイズオン省チーリン市で1月28日正午から21日間、外出制限措置を実施しています。

・ミャンマーでクーデター、国軍が全権掌握、非常事態宣言

(2021年2月1日)

ミャンマー国軍は2月1日、国軍系のテレビを通じ、1年間の非常事態を宣言、ミン・アウン・フライン総司令官が国家権限を掌握したと発表しました。これに先立ち、アウン・サン・スーチー国家顧問兼外相や与党・国民民主連盟（NLD）の議員らを拘束し、クーデターが実行されました。

・タイ政府・新型コロナウイルス関連措置の規制を緩和

(2021年1月29日)

タイ政府の新型コロナウイルス状況管理センターは1月29日、非常事態令に基づく新たな措置を公表し、2月1日から発効しました。全77都県をリスクに応じて5段階の区分に再分類し、規制の緩和措置を行っています。

○ 中国

- ・中国国内の低リスク地区から北京市へ来る（戻る）人に対し7日以内のPCR検査陰性証明等を義務化（2021年1月28日）

北京市政府は春節前後の1月28日から3月15日までの間、中国国内の低リスク地区の人員が北京市に来る（戻る）際には、北京到着前7日以内のPCR検査の陰性証明を所持、北京到着後14日間の健康モニタリング及び2回のPCR検査の義務化を発表しました。

※ 健康モニタリングとは：期間中は各種の集団活動に参加せず、会食もせず、集まりもせず、かつ要求に応じて職場や社区などに健康状況を報告すること。通常の外出、仕事・生活は可能。